

各地の話題 大崎

世界農業遺産「大崎耕土」の田んぼで「ささ結」の田植え体験

2026年6月5日号掲載



世界農業遺産「大崎耕土」の豊かな自然の中で、ブランド米「ささ結」の田植え体験が5月9日に開催され、市内外から応募した参加者30人が田植え作業を体験した。

このイベントは「ささ結」の魅力をより多くの人に知ってもらう企画として2016年にスタートし、今年で11回目を迎える。今回は、古川敷玉地区の三浦さんのほ場へ場所を新たに移して開催された。

ささ結は世界農業遺産「大崎耕土」の地、宮城県大崎市で2015年に誕生したササニシキ直系の銘柄米だ。

参加者は泥に足を取られながらも笑顔で苗を植え、「初めての体験で楽しかった。秋の収穫が楽しみ」と話していた。

イベントは、市の宝大使で県内を中心に活動しているタレントのワッキー貝山氏が司会進行を務め、特別ゲストとしてタレントのパンツェッタ・ジローラモ氏も参加。会場を盛り上げながら参加者と交流した。

田植え後の交流会では、ささ結を使ったお寿司のほか、大崎耕土の食材を使った料理などが振る舞われ、地域の食の魅力を発信した。9月には稲刈り体験も予定している。

田に足を踏み入れ田植えをする参加者



参加者で記念撮影



【記事提供】 大崎市農業委員会